

第5学年 組 国語科学習指導案

指導者

1 単元 人物の考え方や生き方をとらえよう「わらぐつの中の神様」

2 指導観

- 本学級の子ども達は、これまでに「新しい友達」「サクラソウとトラマルハナバチ」「千年の釘にいどむ」の学習を通して、題名と冒頭の文から読み通しの目を作り、予見を確かめ、最後に書き手の伝えようとしていることについて考えるという学習の流れが少しずつ身に付いてきている。読みの実態としては、根拠となる叙述をもとに自分の読みを作り出すことができるようになってきた。しかし、まだその叙述の表面的な読みにとどまる子も多く、言葉と言葉をつなぎ、その言葉の意味を文脈の中で正確に捉えるということができずに浅い読みになってしまいがちである。ノートに書いていることを発表することはできるが、人の考えと関係付けながら聞いたり、発表したりすることはまだできていない。

そこで、場面と場面のつながりの中で読んだり、言葉に着目して言葉をつなぎ、その意味を考えて読んだりする力や、友達の考えとの共通点や相違点を考えながら話し合う力をつけていきたい。

- 本教材は、人の身になって一生懸命尽くす心を大切にしてきたおばあちゃんとおじいちゃんの生き方とその生き方に感動して変容するマサエの姿を描いた作品である。主人公マサエは、読み手である子ども達と同年代であり、マサエに同化しながらマサエの変容を読んでいくことで、人として大切な考え方や生き方について考え、自分自身の見方・考え方をふり返る上で適した教材といえる。

この物語は、「現在―過去―現在」の三つの場面によって構成されており、それぞれの場面は1行空きによって分けられているという特質がある。おばあちゃんの昔語りをマサエが聞いているという形になっており、初めと終わりのマサエの姿の変容に、作品の主題が描かれている。また、昔語りに出てくるおみつさんと大工さんが、実はマサエのおばあちゃんとおじいちゃんであったということ、後で種明かしをするといった手法をとることによって、おばあちゃんとおじいちゃんの考え方や生き方のすばらしさに気付かせようとする書き手の意図がある。

表現の特質としては、繰り返しによる強調表現、文末表現の工夫など巧みに叙述が書き表されており、読み確かめていく中で繰り返しや文末表現の言葉からも自分の読みを作る力を育てることができる。

- 指導にあたっては、まず、題名と冒頭からマサエとおばあちゃんのわらぐつや神様に対する考え方の違いを読み取らせる。そして、昔語りをしようとするおばあちゃんの意図を考え疑問を持たせたり、主人公マサエの変容を追求していく視点をもたせたりすることにより、読み通しの目「①おばあちゃんは、わらぐつの中に神様がいない話で、マサエに何を伝えたいのだろう。②マサエはおばあちゃんの話聞いてどう変わるのだろう。」を生み出す。

次に、全文を読み通して予見を書きまとめさせる。予見の話し合いでは、読み通しの目①は、昔語りの中のおみつさんの姿に着目している予見や大工さんの姿に着目している予見、二人のこれまで生きてきた生き方に着目している予見などが予想される。ここでは、子ども達の意欲を最後まで持続させるために複数の予見を残し、読み確かめていく視点とすることで読み確かめの必要感を持たせたい。読み通しの目②については、おばあちゃんの話聞いた後のマサエの言動を丁寧に読んで読み確かめるという計画を立てていく。

読み確かめでは、予見の根拠となった叙述を中心文とし、中心文をもとに他の言葉や文とつなぎながら読み深めさせていく。

最後に、文章構成や人物設定の意図を考えて主題についてふり返り、自分の見方・考え方をふり返らせることで読みのまとめをする。また、本単元で学習した読み方についてもふり返り、学習した読み方の定着・転移を図る。

3 単元目標

- 昔語りに込められたおばあちゃんの心やマサエの変容した姿から、いつでも相手のことを思って生きてきたおばあちゃんとおじいちゃんの生き方を読み取ることができる。
- 繰り返しや文末表現に着目したり、言葉と言葉をつないだりして読み取り、友達の考えと関係づけながら話し合い、自分の読みを深めることができる。

4 学習計画（全11時間）

通読	ねらいと主な学習活動	指導上の留意点
読み の め あ て	<p>①</p> <p>◎ 題名と冒頭から読み通しの目を生み出すことができる。</p> <p>1 題名について話し合う。</p> <p>2 冒頭を読み、おばあちゃんとマサエの見方・考え方の違いを読み取る。 (1) 冒頭を読み、時・場所・登場人物を確認する。 (2) マサエとおばあちゃんの見方・考え方の違いを読み取る。</p> <p>3 題名と冒頭の読みをつないで、読みのめあてを生み出す。</p>	<p>※ 神様という言葉から受けるイメージを発表させ、わらぐつの中にどんな神様がいるのかという疑問をもって冒頭の読みに入る。</p> <p>※ 題名にある「わらぐつ」「神様」が出てくる叙述に着目させ、おばあちゃんとマサエの「わらぐつ・神様」について対比された見方・考え方を確認する。</p> <p>※ わらぐつの中の神様とはどんな神様かまだ分からないことを確認しておく</p> <p>※ おばあちゃんがマサエに話を聞かせようとしている意図について考え、何か伝えようとしていることに気付かせる。</p> <p>※ 既習の物語を想起し、主人公の変容があることを確認する。</p>
	<p>②</p> <p>◎ 読み通しの目に対する自分の読みを話し合い、予見としてまとめることができる。</p> <p>1 読み通しの目にそって全文を読み通し、難語句、新出漢字について調べる。</p> <p>2 全体の文章構成をとらえ、あらすじをつかむ。</p> <p>3 読み通しの目に対する自分の読みを書きまとめる。</p> <p>4 自分の読みをもとに予見について話し合う。 (1) 自分の読みを発表する。 (2) 題名の「神様」とは何を表しているのか考え、予見を方向付ける。</p>	<p>※ 場面の様子をとらえさせるために、難語句について調べ、その意味をとらえさせる。</p> <p>※ 一行空きに注目して、「現在—過去—現在」の時間経過で文章が構成されていることに気付かせる。</p> <p>※ 話を聞く前のマサエの考え方を確認し、おばあちゃんが伝えたいことをまとめさせる。</p> <p>※ どの叙述からそう考えたのかはっきりさせるために、読み取りプリントの形式を工夫する。</p> <p>※ 子ども達の予見を一覧表にして配布し、重なりや違いが分かるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心をこめて作った物には神様がいる。 ・心をこめて物事をやるのが大事。 ・相手のことを考えること。 ・物は見かけではなく、中身が大切。 ・マサエは神様を信じるようになった。 ・マサエはわらぐつの見方が変わった。
予見 本時 2 / 11	<p>【読み通しの目】</p> <p>①おばあちゃんは、わらぐつの中に神様がいなかった話で、マサエに何を伝えたいのだろう。 ②マサエはおばあちゃんの話聞いてどう変わるのだろう。</p> <p>【予見の方向】</p> <p>①物は見かけではなく中身が大切ということ伝えてかった。 相手のことを考えて、心をこめて物事をやるのが大切ということ伝えてかった。 ②マサエは、おばあちゃんの話を受け止め、わらぐつや神様への見方が変わった。</p>	

学 習	①	◎ 予見を読み確かめるための学習計画を立てることができる。	
	1	予見を確かめるには、どんなことを読み取っていけばよいか話し合う。	※ 予見の根拠となった叙述をもとに、人物の姿や考え方について読み取ればよいことに気付かせる。
計 画		めあて①について ○ 根拠の違いから (1) おみつさんの姿や考え方、大工さんの姿や考え方をそれぞれ詳しく読み取る。 (2) 二人の考え方に共通するものはないか考える。 ○ 考えの違いから ・ 互いの考えは認められるかどうか。	
		めあて②について マサエはどんな見方や考え方をするようになったのか、根拠を明らかにして考える。	
画	2	読み確かめるための中心となる文を見つけ、読み確かめるめあてをつくる。	
		【学習計画】 ① おばあちゃんが伝えたかったことを確かめるために、わらぐつを編む姿からおみつさんの考え方を読み取ろう。 中心文①「でも、おみつさんは、少しくらい格好が悪くても、はく人がはきやすいように、あったかいように、少しでも長持ちするようにと、心をこめてしっかりしっかり、わらを編んでいきました。」 ② おばあちゃんが伝えたかったことを確かめるために、大工さんの言葉や姿から、大工さんが大切にしている考え方を読み取ろう。 中心文②「いい仕事ってのは、見かけで決まるもんじゃない。使う人の身になって、使いやすく、じょうぶで長持ちするように作るのが、ほんとのいい仕事ってものだ。」 ③ 話を聞いた後のマサエの言葉や姿から、おばあちゃんの話聞いてマサエはどのように変わったのかを確かめよう。 中心文③「ふうん。だけど、おじいちゃんがおばあちゃんのために、せっせと働いて買ってくれたんだから、この雪げたの中にも、神様がいるかもしれないね。」	
読 み 確 か	②	◎ はく人のことを考えて心をこめてわらぐつを作るおみつさんの考え方を読み取り、予見を確かめることができる。	
	1	書き込みの視点づくりをする。 ・ 「ように」や「しっかり」が繰り返し使われているのはなぜか。 ・ おみつさんは、どんな考えでわらぐつを編んでいるのか。 ・ おみつさんは、なぜ「元気よく」町にでかけたのだろう。	※ 音読をすることで考えさせる。 ※ 叙述に線を引かせ、引いたところから自分の考えをまとめさせる。 ※ 前後のおみつさんの会話や行動、様子などをつないで考えさせる。
	2	おみつさんの姿や言葉から、おみつさんの人柄について自分の考えを書きまとめる。 —中心文①—	
		でも、おみつさんは、少しくらい格好が悪くても、はく人がはきやすいように、あったかいように、少しでも長持ちするようにと、心をこめてしっかりしっかりわらを編んでいきました。	

読	<p>3 書き込みをもとに、わらぐつを作るおみつさんの考え方を読み取る。</p> <p>4 自分の読みをもとに、わらぐつを作るおみつさんの考え方について話し合う。</p> <p>5 話し合いをもとに、おばあちゃんが伝えたかったことについて、自分の読みを見直す。</p>	<p>※ いつも人のことを考えているおみつさんの人柄とつなぎながら話し合わせる。</p> <p>※ 初めの自分の読みが話し合いで、どう深まったかを意識させながら読みの見直しをさせる。</p>
	<p>【読みとったこと】 おみつさんは、いつも自分より相手のことを第一に考え、心をこめて一生懸命にやろうとする考え方を持っていること。</p> <p>【読み方】 ・繰り返しを読む</p>	
み	②	◎ 大工さんの言葉や姿から、大工さんが大事にしている考え方を読み取り、予見を確かめることができる。
	<p>1 書き込みの視点づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> なぜ大工さんはおみつさんの作ったわらぐつをいつも買っていくのか。 大工さんは、なぜ「使う人の身になって、使いやすく、じょうぶで長持ちするように作るのがほんとのいい仕事ってもんだ。」と言ったのか。 <p>2 大工さんの言葉や姿から、大工さんの人柄について、自分の考えを書きまとめる。</p> <p>— 中心文② —</p>	<p>※ 音読をすることで考えさせる。</p> <p>※ 叙述に線を引かせ、引いたところから自分の考えをまとめさせる。</p> <p>※ 前後の大工さんの会話や行動、様子などつないで考えさせる。</p>
確	<p>いい仕事ってのは、見かけで決まるもんじゃない。使う人の身になって、使いやすく、じょうぶで長持ちするように作るのが、ほんとのいい仕事ってもんだ。</p>	
か	<p>3 書き込みをもとに、大工さんが大切にしている考え方を読み取る。</p> <p>4 自分の読みをもとに、大工さんの仕事に対する考え方について話し合う。</p>	<p>※ おみつさんの考え方や心とつないで考えさせる。</p> <p>※ 大工さんの仕事に対する考え方がおみつさんの考え方と共通していて、二人の心が通い合っていくことをとらえさせる。</p>
	め	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 話し合いをもとに、おばあちゃんが伝えたかったことについて、自分の読みを見直す。</p>
<p>【読みとったこと】 大工さんは、おみつさんと同じように、見かけではなく相手のことをいつも考えて、心をこめて一生懸命に仕事をしようという考えを大切にしている。</p> <p>【読み方】 ・文末表現を読む・場面と場面をつないで読む</p>		
(2) めあて①に対する予見を確かめる。		

	<p>②</p> <p>◎ 話を聞いた後のマサエの姿からマサエの変容を読み取り、予見を確かめることができる。</p> <p>1 中心文をもとに、話を聞いた後のマサエの気持ちを読み取り、マサエがどのように変わったかを書きまとめる。 — 中心文③ — ふうん。だけど、おじいちゃんがおばあちゃんのために、せっせと働いて買ってくれたんだから、この雪げたの中にも、神様がいるかもしれないね。</p> <p>2 自分の読みをもとに、話を聞いた後のマサエの気持ちについて話し合う。 ※ 冒頭のマサエの姿とつないで考えさせる。</p> <p>3 話し合いをもとに、マサエの変容について、自分の読みを見直す。 ※ パチンと手をたたいて目をかがやかせたマサエや、雪げたをかかえたまま飛び出していくマサエの姿とつなぎながら話し合わせる。 ※ 初めの自分の読みが話し合いで、どう深まったかを意識させながら読みの見直しをさせる。</p> <p>【読みとったこと】 マサエは、おばあちゃんの話聞いて、おみつさんと大工さんの見方・考え方がわかり、おじいちゃんとおばあちゃんに対する見方が変わり、自分も人を思う心を大切にしようと思った。</p> <p>【読み方】 ・場面と場面を比べて読む・ことばを比べて読む</p>
読み・読み方のまとめ	<p>①</p> <p>◎ 題名や文章構成から作者の意図を考え、読みのまとめをすることができる。</p> <p>1 題名にもどり、ここでいう神様とは何か考え、話し合う。 ※ 冒頭で疑問として残っていた「どんな神様か」について考え、人が生きる上で一番価値あるものと考えているものを「神様」と表現している作者の意図に気付かせる。</p> <p>2 作品の主題について考える。 ※ 書き手が伝えたかった人物の考え方や生き方を主題としてまとめさせる。</p> <p>3 主題について、自分をふり返りどのように受け止めたかについて書きまとめる。 ※ 作品の中の人物に向き合い、書き手のもの見方や考え方から、自分の見方や考え方がどう変わったかを考えさせる。</p> <p>4 学習をふり返る。 ※ 学習の足跡を残した掲示物から、言葉や文の読み方をふり返らせる。</p>

5 本時（2／11）

10月 日 月曜日 校時 於5年 組教室

6 本時の目標

- 読み通しの目に対する自分の予見について話し合い、クラスの予見としてまとめることができる。
- 読み通しの目をもとに全文を読んで、まず自分で予見をまとめ、次に学級全体で交流して学級の予見としてまとめていく読み方を身につけることができる。

7 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、読み通しの目にそって全文を読み通し、全体の文章構成をとらえてあらすじをつかんでいる。そして、話を聞く前のマサエの考え方を確認し、おばあちゃんが伝えたいことについて考え、読み通しの目に対する自分の読みを書きまとめている。

本時は、読み通しの目「①おばあちゃんは、わらぐつの中に神様がいない話で、マサエに何を伝えたいのだろう。②マサエはおばあちゃんの話聞いてどう変わるのだろう。」に対する自分の予見について話し合い、クラスの予見としてまとめる学習である。

そこで、本時指導にあたっては、まず、前時までの振り返りをもとに本時は何を考えるのか、話し合いをどう進めていくかを確認し、学習の見通しを持たせる。次に、前時に書きまとめた自分の読みをもとに、おばあちゃんが伝えたかったことの一つ目について話し合う。となり同士ペアの交流や列指名を取り入れ、全員の子どもたちが話し合いに参加できるように工夫したい。予見はいくつかの考えを組み合わせたり、修正したりしてまとめていくが、子ども一人ひとりの価値ある読み取りを認め、賞賛しながら進めていきたい。

学習のまとめでは、自分のはじめの予見を振り返り、自分の考えの何が深まったのか書きまとめ、発表させる。書かせる前には、振り返りの視点やモデル文を提示し、読み取りが苦手な子どもたちでも取り組みやすいように支援していきたい。

板書計画

<p>振り返りのポイント</p> <ul style="list-style-type: none">①自分の考えはどのように変わったのか、②お話の内容を新しくわかったこと、③友達の読み取り方考えのいいところ <p>見直した予見</p> <p>わたしははじめ、マサエはわらぐつのいいところが分かったと思っていたけど、おばあちゃんがいいところが分かった上にも気がきました。〇〇くんは、おみつさんと大工さんの言葉の似ているところに気がついていました。</p>	<p>マサエはどう変わったか。</p> <ul style="list-style-type: none">・マサエは、神様を信じるようになった。・マサエは、わらぐつのいいところが分かった。・マサエは、おばあちゃんの話に感動した。 <p>マサエは、おばあちゃんの話を受け止め、わらぐつや神様の見方が変わった。</p>	<p>おばあちゃんが伝えたかったこと</p> <ul style="list-style-type: none">・使ったの身になって仕事をやるのが大事。・はく人がはきやすいように、長持ちするようにつくるのが大事。・心をこめて作ったものには神様がいます。・相手のことを考えて、心をこめて取り組むことが大事。 <p>物は見かけではなく中身が大切。</p>	<p>人物の考え方や生き方をとらえよう わらぐつの中の神様</p> <p>杉 みき子</p> <p>学習のめあて 読み通しの目に對する自分の予見について話し合い、クラスの予見としてまとめよう。</p>
---	--	---	--

8 本時の展開 (2 / 11)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 前時学習を想起し、本時学習のめあてを確認する。</p> <p>— 学習のめあて — 読み通しの目に対する自分の予見について話し合い、クラスの予見としてまとめよう。</p>	<p>※ 学習計画をもとに、本時は何を考えるのか、話し合いをどう進めていくのかを確認し、学習の見通しをもたせる。</p>
<p>2 自分の読みをもとに、予見について話し合う。</p> <p>() おばあちゃんが伝えたかったことの一つ目について話し合い、まとめる。</p> <p>() おばあちゃんが伝えたかったことの一つ目について話し合い、まとめる。</p> <p>() マサエはおばあちゃんの話聞いてどう変わったのか、について話し合い、まとめる。</p>	<p>※ はじめは、となり同士ペアでの交流、次に列指名による発表、最後に全体交流へと進めていく。</p> <p>・ いい仕事は見かけで決まらない。 ・ 少しくらいかっこうわるくてもいい。 ・ 外見ばかり気にはいけない。 ・ 物は見かけではなく中身が大切。</p> <p>※ いくつかの考えを、組み合わせたり、修正したりしてまとめていく。そのまま、一つの考えを全体のまとめとすることもある。</p> <p>・ 使う人の身になって仕事をするのが大事。 ・ はく人がはきやすいように、長持ちするようにつくることが大事。 ・ 心をこめて作ったものには神様がいる。 ・ 相手のことを考えて、心をこめて取り組むことが大事。</p> <p>※ マサエがわらぐつを編む様子で大工さんの言葉を手がかりに考えさせる。</p> <p>・ マサエは、神様を信じるようになった。 ・ マサエは、わらぐつのいいところが分かった。 ・ マサエは、おばあちゃんの話に感動した。 ・ マサエは、おばあちゃんの話を受け止め、わらぐつや神様の見方が変わった。</p> <p>※ 話を聞く前のマサエの言動を手がかりにして考えさせる。</p>
<p>3 自分のはじめの予見を振り返り、自分の考えの何が深まったのか書きまとめ、発表する。</p>	<p>※ ①自分の考えはどのように変わったのか、②お話の内容で新しくわかったこと、③友だちの読み取り方や考えのいいところ、などについて書くようにさせる。</p> <p>わたしははじめ、マサエはわらぐつのいいところが分かったとしていたけど、おばあちゃんのいいところが分かったことにも気がつきました。Aくんは、おみつさんと大工さんの言葉の似ているところに気が付いていたのですごいと思いました。</p>
<p>4 本時学習をまとめ、本時で学んだ読み方を確認する。</p>	<p>※ 日は、一人ひとりの予見をもとに話し合い、クラスの予見としてまとめたこと、次時は、予見を確かめる学習計画を立てることを確認する。</p> <p>※ クラスの予見とは違う視点の読み取りも、の考えのよさとして取り上げ、そのよさを全体に伝えていく。</p>

